

報道関係者各位

3/11（金）埼玉県白岡市と 国内 28 例目となる
「COOL CHOICE 活動推進に向けたプラスチックごみ削減に関する協定」を締結

水道直結ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、2022年3月11日（金）に埼玉県白岡市（市長：藤井 栄一郎）と「COOL CHOICE 活動推進に向けたプラスチックごみ削減に関する協定」を締結したことをお知らせいたします。



■白岡市市長 藤井 栄一郎様 コメント

ウォータースタンド株式会社においては、全国的に事業を展開し近年は健やかな地球を未来の世代に引き継ぐため、地域一体で「ボトルフリープロジェクト」を行うなど、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

この度、国の掲げる 2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度比 46%削減するという目標を達成するため協定を締結する運びとなりました。

「COOL CHOICE」とは地球に優しい省エネ・低炭素製品の購入や、環境に配慮した行動などを積極的に行う「賢い選択」のことです。今回の協定締結により当市とウォータースタンド株式会社双方が持つ資源を有効に活用し、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題の解決に向け庁舎を始めとした公共施設等の給水環境の整備を進めて参ります。市民や職員など多くの方がマイボトルを持参しウォータースタンドを活用することにより「便利さ」、「快適さ」を実感するとともに、その「賢い選択」が地球環境への貢献に繋がるものと期待しています。

■協定の概要

白岡市は、望ましい環境像を「青空が広がる 自然と豊かな心を育む“持続可能”なまち しらおか」と定め、2021年3月策定の「第2次白岡市環境基本計画」において3Rの推進としてマイボトル持参の取り組みを実施されています。市・市民・事業者等が一体となり真に豊かで快適かつ持続可能な環境づくりに向けたこれまでの取り組みをさらに推し進めるため、白岡市と当社は協定を締結し市内各所の公共施設にマイボトルへの給水が可能なウォータースタンドを設置します。また、ペットボトル等のワンウェイプラスチック製品の使用抑制について積極的に啓発し地球環境の維持と改善を図って参ります。

■白岡市の「COOL CHOICE 宣言」と地球温暖化対策

日本は、2030年に温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標を掲げ、この目標達成のため省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など地球温暖化対策に資すると同時に快適な暮らしにもつながる「賢い選択」を推し進める取組を実行しています。

白岡市はこの地球温暖化に向けた国の方針に賛同し、2021年4月9日に「COOL CHOICE 宣言」を発表しています。同宣言の下、市民・事業者・市の三者協働でマイバッグやマイボトルの持参をはじめとする具体的な取り組みを推進すると共に、様々な主体による環境に関する学習や体験などの環境教育、環境学習の実施により、持続可能な地域社会の実現を目指しています。

当社は、同市の取り組みを後押しすべく公共施設にウォータースタンドを設置し、全世界的な喫緊の課題である地球温暖化に対応するため、今後重要課題となるワンウェイプラスチックの削減において協働して参ります。同時に、当社のこれまでの知見を活用し住民や事業者らと連携を深め、地域と一体となり社会課題解決に寄与して参ります。

■当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取り組み

当社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、白岡市を含め全国28の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。

2021年10月には、廃棄物等の3R(リデュース：発生抑制・リユース：再使用・リサイクル：再資源化)に率先して取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」に対して行われる「令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」においてリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞しました。

本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取り組みへの協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取り組みを日本全国に拡大していきます。

■ウォータースタンドについて

水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

2021年7月には、赤ちゃんのミルク作りがラクにできること、それによりパパ・ママの心に余裕が生まれ、子育てを楽しむことに貢献できる製品であることが評価され、水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド ガーディアン」が「2021年度日本子育て支援大賞」を受賞しました。

■当社の取り組みの事例掲載・受賞一覧

- ・脱炭素チャレンジカップ 2022「オルタナ最優秀ストーリー賞」受賞
- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・一般社団法人日本子育て支援協会 2021年度日本子育て支援大賞
- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード 2020 伝えたい日本の"サステナブル"サステナアワードルーキー賞
- ・経済産業省関東経済産業局 中小企業のSDGs取組事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■自治体との協定締結実績一覧

協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)
2019年 9月	葉山町 (神奈川県)
2019年11月	所沢市 (埼玉県)
2020年 1月	京都市 (京都府)
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)
2020年10月	世田谷区 (東京都)
2021年 1月	館林市 (群馬県)
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)
2021年 4月	志摩市 (三重県)
2021年 4月	春日部市 (埼玉県)
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)
2021年 4月	吹田市 (大阪府)
2021年 6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)

協定締結年月	自治体名
2021年 6月	渋谷区 (東京都)
2021年 6月	泉大津市 (大阪府)
2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)
2021年 8月	日野町 (滋賀県)
2021年 8月	上尾市 (埼玉県)
2021年 9月	島本町 (大阪府)
2021年11月	藤岡市 (群馬県)
2021年11月	岡山市 (岡山県)
2021年12月	直方市 (福岡県)
2022年 1月	杉並区 (東京都)
2022年 1月	丹波篠山市 (兵庫県)
2022年3月	白岡市 (埼玉県)

【ウォータースタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均

本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 65 拠点 2022 年 3 月)

設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円

事業内容：水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」・空気清浄機レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：武井

TEL：048-657-6731

e-Mail：pr@waterstand.co.jp

コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>

サービスサイト <https://waterstand.jp/>